

生駒市立学校給食センター運営協議会

1. 日 時 令和7年7月14日（月）午後3時から午後4時

2. 場 所 生駒市立生駒北学校給食センター 2階研修室

3. 次 第

1. 教育部長挨拶
2. 運営協議会委員及び事務局職員の紹介
3. 運営協議会会長の選出
4. 案件
 - (1) 令和7年度学校給食実施計画について
 - (2) 学校給食センターにおける食育について
5. その他

4. 参加者

大坪	昌子	瀬戸	亜希子	水野	文子	中井	一郎	西村	千尋
角保	智子	村田	由紀子	松井	英人	松下	千博		

5. 事務局職員

教育総務課長	山本	英樹	学校給食センター所長	山本	芳和					
主任	百瀬	栄一	栄養士	三木	有美	堀田	沙希	調理員	古長	朋子

6. 傍聴者 なし

午後 3 時開会

- 教育部長挨拶（教育総務課長代理）
- 運営協議会委員及び事務局職員の紹介
- 運営協議会会長の選出
 - ・ 会長に大坪委員が選出される。
- 案件

（１）令和 7 年度学校給食実施計画について

（事務局）資料 1 について説明

質疑応答 特になし

（２）学校給食センターにおける食育について

（事務局）資料 2 について説明

（委 員）「残さず食べようという意欲を育てる」という内容で「食」に関する指導を行っているが、給食の残食率はどのような状況か。

（事務局）中学校のデータでおかずのみの集計となるが、令和 6 年度の残食率は 8. 1 %であった。

令和 2 年度は 13. 1 %であったのが、残さず食べてもらえるような工夫を調理員、栄養士で行った結果、少しずつではあるが残食率は減ってきている。

今後も引き続き、食育も行いながらしっかりと食べてもらえるように取り組んでいきたい。

（委 員）学年によって給食の量は違うのか。

（事務局）おかずについては、小学校の高学年（4・5・6 年生）を基準とし、低学年（1・2・3 年生）は 0. 9、中学生は 1. 3 の分量で提供している。ごはん、パンについても低学年、高学年、中学生で量が異なっている。

（委 員）今年度からジョアが提供されているが、今後は牛乳からジョアに切り替わっていくのか。

（事務局）今後どうしていくかは検討課題であるが、全てがジョアになるというところまでは考えていない。

（委 員）牛乳と比べるとジョアはほとんど残らない。子供たちにも人気がある

ように思う。

(事務局) そういった声も踏まえて今後どうしていくか検討していきたい。

○ その他

(委 員) 給食費の無償化は行うのか。

(事務局) 無償化を行うとなると4億から5億円程度の財源が必要となってくるので、市単独で実施するのは難しい。そのため、今まで行ってきた給食費の無償化は、国からの交付金を活用して実施してきた。今年度については、今のところ国から交付金の話が出ていないので、いつから無償化するということは明言出来ないが、来年度については、全国一律で小学校について無償化するという話も出ている状況となっている。

財源の問題から、給食費の無償化を市単独で行うというのは難しいが、給食材料費については、物価高騰で値上がりしている部分を市が負担することで、給食費を値上げすることなく、安全でおいしい給食を提供していきたいと考えている。

～ 閉 会 ～